

そのとき、イエスは弟子たちに言われた。(兄弟があなたに対して罪をおかしたなら、行って一人だけのところで忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を得たことになる。聞き入れなければ、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。すべてのことが、二人または三人の承認の口によって確定されるようになるためである。それでも聞き入れなければ、教会に申し出なさい。) - マタイによる福音 18 章 -

あの子と、ともだちになる・・・

よくないことをしている子に注意をしたいけど、うまくいか心配、今日のイエスさまのことは、そんな時どうすればよいか、教えてくれています。もし自分がいじわるをされたら、自分はひがい者だ、自分は悪くないと考えて、いつまでもいじわるをした人をうらんで、ゆるせないと思う時がありませんか。

でも、そういう時、じつは、自分の魂(たましい)もきずつけているんですね。魂がきずつくと、神さまがつくれたすばらしいことや美しいものをかんじられなくなります。これはとても、不幸で悲しいことです。

イエスさまは、「あなたの敵を愛し、敵のために祈りなさい」とも言っています。きらわれているいやな子だと思っても、その子のために、あの子がいい子になって、みんなからすかれる子になりますように、と祈ってあげなさいというのです。

もし、だれかに注意したい時があったら、イエスさまが言うように、まずその子のために祈ってあげましょう。それから、ふたりだけのところで、やさしい言葉で話してみるといいですね。

では、また。 2020年9月6日 まさかわ のぶお神父